

# 塩田庁舎等利活用基本構想（案）

## 修正箇所

## 第1章 はじめに

### 1. 基本構想の目的と経緯

嬉野市（以下、「本市」といいます。）は、平成 18（2006）年 1 月 1 日、藤津郡塩田町と藤津郡嬉野町の 2 町が合併し、佐賀県内 9 つ目の市として誕生しました。

市庁舎は、市民の利便性を考慮し、各庁舎の部・課編成などの機構改革等も行いながら、各々の旧役場庁舎を市庁舎として活用する「2 庁舎方式」により行政運営を図ってきました。

本市では、令和元年度から 9 回にわたって実施された「嬉野市庁舎のあり方検討委員会」によって、嬉野地区での新庁舎整備の方向性が検討され、**行政のスリム化及び災害拠点としての脆弱性解消のため**、行政運営体制は「2 庁舎体制から行政機能を 1 か所に集約する 1 庁舎体制へ移行することが望ましい。」、「新庁舎整備は、現嬉野庁舎用地を含むその周辺公有地を活用する」とする庁舎の方針が示されました。

**この方針が示されたこととともない、塩田地区の庁舎利用に対する利便性や、地域活力の低下などの社会的影響などを懸念する声もありました。**

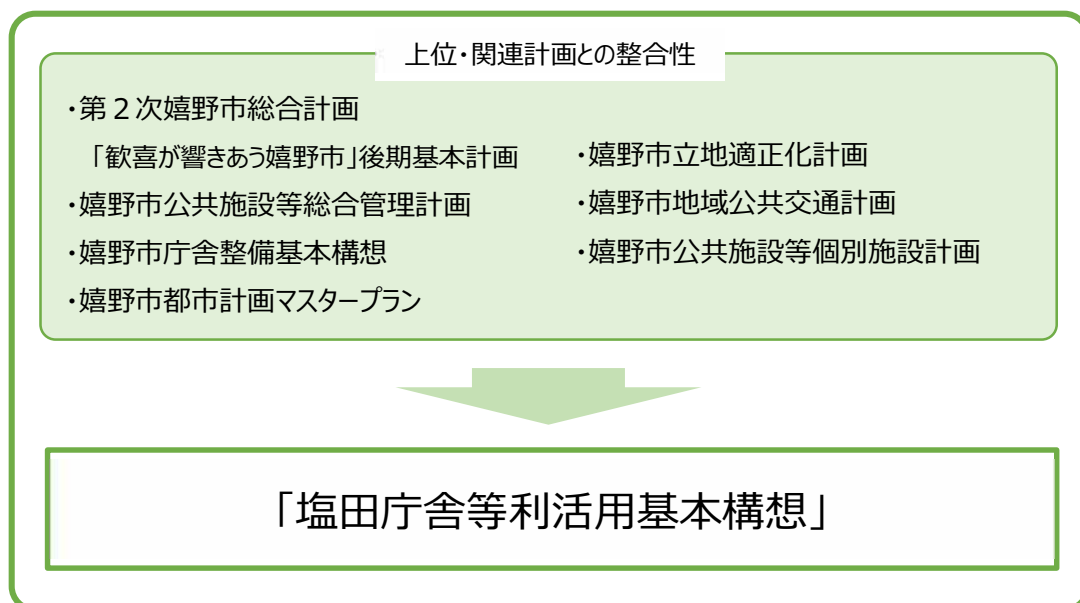
そうした中、塩田庁舎及び周辺公共施設（以下、「塩田庁舎等」といいます。）の利活用を行い、行政サービスをより便利にしていくとともに、地域の活性化につながるための各施設の役割について、行政と住民が一体となって検討し、「塩田庁舎等利活用基本構想」（以下、「本基本構想」といいます。）を策定することとなりました。

本基本構想は、今後、本市や住民が塩田庁舎等を塩田地区の中核拠点として利活用に取り組み、将来に向けて夢のある地域づくりのビジョンと、ビジョンを具体化するための理念・方針等を示すことを目的としています。

### 2. 塩田庁舎等利活用基本構想の位置づけ

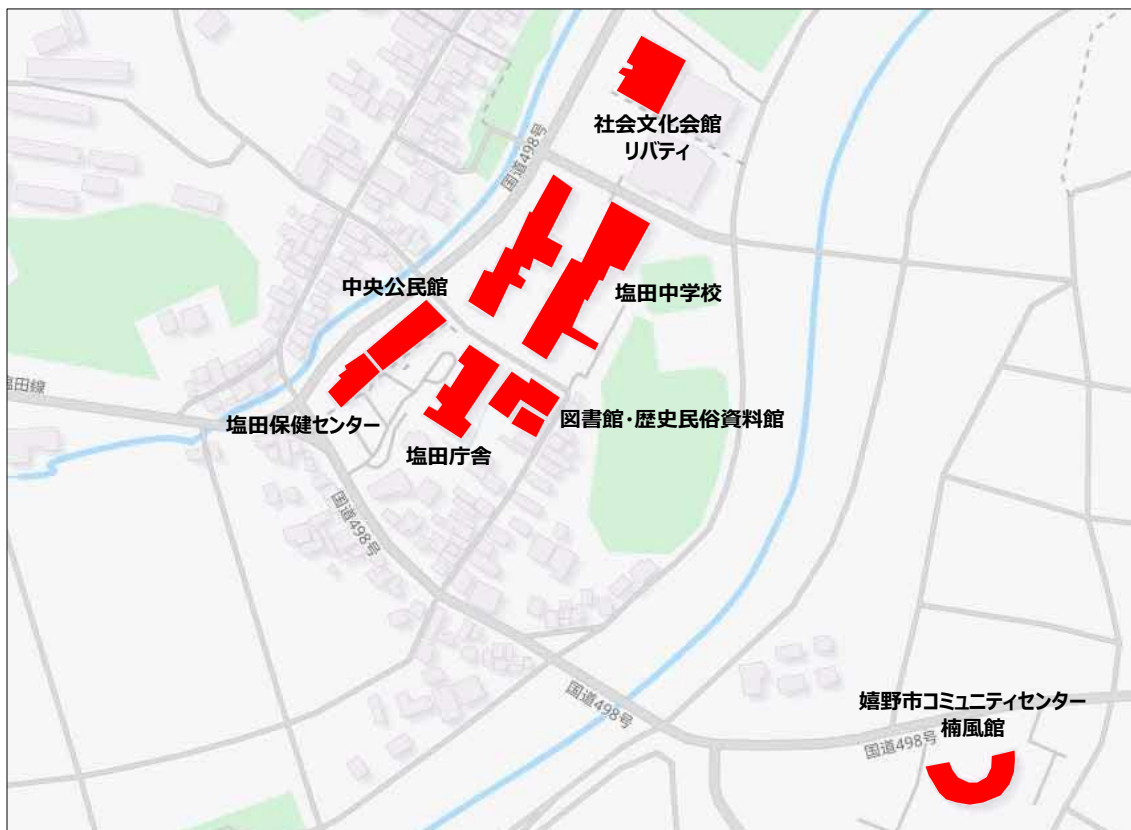
本基本構想の策定にあたっては、本市上位・関連計画との整合を図る必要があります。

#### 1) 関連する上位・関連計画



#### 4. 対象施設及び近隣施設の設置状況

対象施設となる塩田庁舎ですが、敷地内には庁舎のほか、中央公民館、保健センターが立地しており、また、敷地の地下には駐車場もあります。この庁舎周辺の公共施設として、近隣には図書館及び歴史民俗資料館、さらに広げると塩田中学校やリバティ、楠風館などが立地しています。



@OpenStreetMap contributors

施設名	建築年・築年数	延床面積	備考
塩田庁舎	平成 5 年(1993 年)築 30 年	1,263 ㎡	
中央公民館	昭和 53 年(1978 年)築 45 年	2,026 ㎡	旧耐震設計
社会文化会館「リバティ」	平成 26 年(2014 年)築 9 年	4,684 ㎡	
図書館・歴史民俗資料館	昭和 61 年(1986 年)築 37 年	1,103 ㎡	
塩田保健センター	平成 10 年(1998 年)築 25 年	1,263 ㎡	
塩田中学校	平成 26 年(2014 年)築 9 年	8,454 ㎡	校舎・体育館・武道場 部室
嬉野市コミュニティセンター (楠風館)	平成 16 年(2004 年)築 19 年	1,241 ㎡	

#### ④ 図書館・歴史民俗資料館

図書館では、図書室の利用のほか、読み聞かせなどの取り組みが行われています。また図書館2階にある学習室の利用率は高い状況です。

歴史民俗資料館は、塩田の文化や産業の歴史のほか、石工の歴史や塩田津の建造物の解説など貴重な遺産を展示・収蔵しています。

施設の状態としては、外部では、外壁のひび割れやシーリングの劣化が見られ、内部においても、壁のひび割れが散見されます。

歴史民俗資料館は、設置目的に特化して建てられているため、機能移転などは困難と考えられます。



#### ⑤ 社会文化会館「リバティ」

社会文化会館「リバティ」は、スポーツ・文化活動を通じた市内外の交流の場として、地域に開かれた市民の誰もが利用しやすい施設として毎日のように利用されており、本市の市民文化施設として中心となる施設となっています。

施設の状態としては築年数が9年程度と新しく、特に大きな問題も見られません。



#### ⑥ 塩田中学校

塩田中学校は、平成26年に新築された2階建ての校舎です。令和5年度は271人の生徒が在学しています。

本施設は、大雨時の浸水の際の水害対策を重視して設計されており、全体が上げ床の高床構造となっており、緊急時の避難経路に対応しているほか、中庭は大雨の際に遊水地の役割を果たしています。

施設の状態としては、リバティ同様に築年数が9年程度と新しく、特に大きな問題も見られません。



#### ⑦ 嬉野市コミュニティセンター「楠風館」

楠風館では、会議、研修をはじめ、仲間どうしの話し合い、趣味のサークル活動などに利用されています。また、風呂のほか、トレーニングルームも設置しており、日頃の健康づくりの場としても利用されています。

施設の状態としては、外部では大きな問題は見られませんが、内部では天井の水染みや内壁のクラックなどの劣化が見られます。



## 第3章 基本構想

### 1. 施設整備にあたっての基本的な考え方

前段のアンケート及びワークショップ等の整理並びに分析を受けての市民意見と、一般的に必要な機能などの技術的な視点による基本的な考え方、方向性を整理します。

塩田庁舎等に期待する施設や機能として、「行政窓口機能」に加え、「子育て支援機能」、「市民活動機能」、「教育・学習機能」、「文化・伝統・歴史・芸術活動機能」、「健康・福祉支援機能」、「出会い・交流機能」、「にぎわい創出・活性化機能」など、総合的な機能が必要であるという結果でした。

塩田庁舎等を取り巻く概況や上位計画における考え方、アンケート結果による利活用の方向性、まちづくりの課題等を踏まえ、塩田庁舎等の利活用の方向性について検討を行いました。その結果、塩田庁舎等の利活用検討にあたっては、地域から切り離して個別に検討するのではなく、地域における構成要素の一つとして捉え、地域へいかに貢献するかという観点から検討すべきであり、利活用の方向性としては、多くの人が集まり交流するような賑わいをつくることが重要だと考えられます。

#### 現状から見える課題の整理と対応

- 行政窓口機能は、より質の高い行政サービスを検討
- 子どもの遊び場や学習の場など、子どもたちが集える空間整備を検討
- 多様化する交流機会の創出を検討
- イベントや催し物などの機会を増やし、施設自体の利用促進を検討
- 財政負担の軽減を図るための、施設機能の複合化・多機能化による施設サービスの向上を検討
- 地域住民の高齢化に伴うコミュニティ活動の低下や、人口構成の変化に伴う市民ニーズの変化に対応した公共施設サービスを検討
- 耐震性の問題、老朽化や設備機能が不十分であるなど、十分な施設サービスを提供できていないことが懸念される施設の解決策を検討
- 公共施設として必要な設備（多目的トイレ、エレベーター等）だけでなく、各施設が提供するサービスに適した設備を検討
- 施設は、地域の拠点として、多世代の市民が気軽に集え・利用でき、コミュニティ活動の場・情報交換の場となる施設として整備を検討
- 自動車を交通手段とする利用者が多いことから、駐車スペースや駐車台数を考慮して検討
- 市民が利用できる会議室やフリースペースを整備するとともに、生活利便性の向上のために売店や飲食店等の併設を検討
- 利用者にとって同施設内に様々な機能を配置することによるメリットもあることから、ハード・ソフトの両面からの整備を検討
- まちの情報を取り扱う機能等を導入する等、市の情報発信と併せて地域課題を解決するきっかけとなる拠点としての整備を検討
- **避難所機能の充実を検討**

#### 4. 施設の新たな役割

設定した基本理念及び基本方針を踏まえ、塩田庁舎及び周辺公共施設の新たな役割や機能について、その施設の役割・位置づけやコンセプトを設定します。

塩田地区の生活・行政サービスの拠点としての機能はもちろん、子育て・教育、文化面で、市内全域から人々が訪れ、「以前よりすごく便利」、「行ってみたら楽しかった」、「また行きたい」と感じられる施設づくりから始めます。そのうえで、日々の生活への安心感と、文化・伝統・歴史・芸術や生涯学習を通じた「学び」、「育み」、「触れ合い」を提供し、文化や学びに触れていく環境づくりを図ることで、多くの市民が集まり、楽しむ拠点として賑わい、他にない「塩田らしさ」を体現する文化と人の交流の場となることを目指します。

【新しい施設（地域）整備にあたっての基本コンセプト（案）】

### 地域の魅力が創出され、世代を超えた地域交流拠点

#### コンセプト

##### ● 生活拠点の軸となる施設（地域）

各種拠点機能（行政サービスによる生活拠点、子育て支援、生涯学習、産業振興、市民交流、情報発信）を持たせ、常時利用者が出入りし、賑わいや魅力が創出される中枢拠点として施設（地域）を目指します。

##### ● 文化・伝統・歴史・芸術が身近に感じられる施設（地域）

塩田津を中心に、住民に趣味等の気軽な楽しみ方や日常生活を充実させることができる“居場所”と思われる塩田地区の中心的施設（地域）を目指します。

##### ● デジタルと新しい生活スタイルで新たな魅力を生む施設（地域）

機能連携による公共サービスの質を高めるとともに、効果的な施設運営（公設民営、市民主体の施設運営等）に取り組みます。各施設への Wi-Fi の設置や SNS など、様々な情報伝達手段の活用により、行政情報などが利用者に届く仕組みや利用しやすい施設運営に取り組み、新しい生活スタイルを支える魅力ある施設（地域）を目指します。

##### ● 子育て・福祉へのサポートが充実した施設（地域）

子育て世代、高齢者及び障がい者等への支援サービスの充実を図り、いつでも気軽に訪問できる施設（地域）を目指します。また、健康・子育て支援など、利用者同士の情報交換や交流を促進する機能を目指します。

##### ● 世代を超えて人々が集い、賑わいが生まれる施設（地域）

共用スペースを中心として各機能を配置することで、子どもから大人までの市民が顔を合わせられる施設（地域）を目指します。

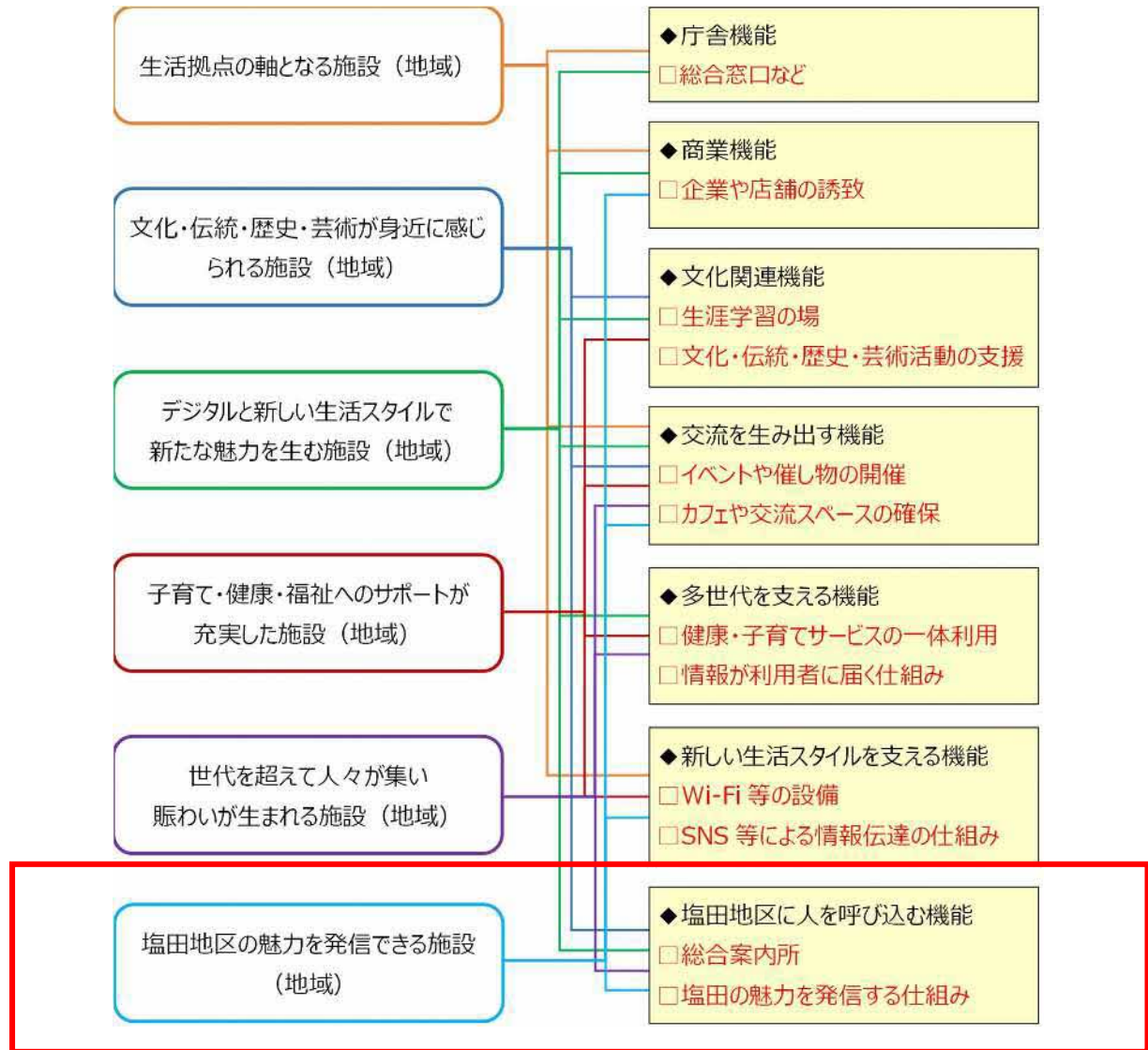
##### ● 塩田地区の魅力を発信できる施設（地域）

塩田津の文化・歴史をはじめ、長崎街道や志田焼など塩田地区の魅力を発信し、市外から多くの人を呼び込めようことや移住促進につながる情報を発信できる施設（地域）を目指します。

## 5. 導入機能イメージ

基本構想において導入の対象とする機能のイメージについて、コンセプトを踏まえ以下に示します。

ここでは公共と民間の別なく、施設として導入が想定できる機能を例示し、今後の市場調査等を踏まえ、公共機能と民間機能の区分を今後示していきます。



## 6. 基本計画に向けて

本基本構想では、市民の意見を踏まえ、塩田庁舎等利活用の基本理念やコンセプトや必要な機能についてとりまとめました。今後は、利活用の具体化や実現に向けた事業化の検討を踏まえ、塩田庁舎等利活用における諸室・設備の概要や施設の運用方針、提供サービスの概要などを基本計画としてとりまとめていきます。

基本計画の検討については、塩田庁舎及び周辺公共施設の一体的な整備に加え、リバティや楠風館など類似・代用機能を持つ施設も含めた総合的な機能再編の検討も必要であることから、行政だけではなく民間活力の導入による事業の検討なども重要となってきます。これらのことから、塩田庁舎等の利活用では、民間事業者との対話を重ね、そのアイデアやノウハウ、資金を活用することによるサービスの向上やコストの削減など、公民連携という事業手法についても視野に入れていきます。